

日付	2019年8月9日(金)	天候	くもり
主な日程	アールスメア花市場 トマトワールド チーズ・木靴生産者 花市場調査		
時間	研修内容	研修の写真	
9:00 アールスメア花市場	<p>本日の最初の研修では、アールスメア花市場へ行きました。ここはサッカーコート240個分の面積を持つオランダで最大の花市場です。正直、市場というより工場のように見えました。機械化がかなり進んでおり、ほとんどの人が機械の上で作業をしていて、床に足をつけている人はわずかでした。大規模な分、人力では限界がある仕事を、力もスピードもある機械を有効に使って作業が行われており、作業の効率化とはこういうことを意味するのだと実感しました。しかし、作業中には衝突事故がこれまで何回もあったと聞き、安全への配慮は必要だと感じました。私は、効率と安全が両立している職場を作ることが、経営者としての使命ではないかと考えました。市場の奥へ進むと競りが行われていました。日本の競りとは違い、下げ競り方式でした。これは、高い値段から低い値段に降りていき、誰が先に入札をするかという方式で、集中力が必要な競りでした。</p>	 	
10:30 トマトワールド	<p>トマトワールドは、80種類以上のトマトを生産する大規模生産温室でした。私たちが見学したのは、そのトマトの生産方法を紹介する温室で、ここで生産されているトマトが全て試験栽培されていました。生産方法は、できる限り化学農薬を使用しない方法がとられていましたが、どうしても抑えられない場合は農薬を最小限度使用するということでした。栽培に関わる全ての環境はコンピュータによって管理されており、そのデータは全て記録として残されているそうです。研修の最後には、トマトの試食をさせていただき、日本では見たことがない品種のトマトを中心に、何種類ものトマトを食べ比べしました。とてもジューシーでおいしいものばかりでしたが、中にはトマトの良さが無くなっていると感じるものもありました。たくさんの発見があった研修でした。</p>	 	
13:00 チーズ・木靴生産者	<p>ここではチーズと木靴を生産し、そのまま販売されていました。チーズは昔ながらの製法に現代技術を織り交ぜた独自の製法で作られており、試食もさせて頂きました。木靴はとてもユーモアのある店主さんが、目の前で作製する姿を見ながら現場の見学をしました。昔ながらの手作業の方法では4時間かかる作業を、機械を使用して1分で終わらせてしまうところを見て、機械の力に驚かされました。</p>		
14:00 花市場調査	<p>アムステルダム市内にある、花を中心に取り扱うマーケットへ見学と市場調査に行きました。どの市場でも必ずというほど取扱いされていたのがチューリップの球根でした。この市場でも多くの球根が並べられており、多くのお客様が買い求めていました。生活に花が根付いている生活様式や価値観から、日本にはない、花に対する文化の違いを知ることができました。</p>		
1日を終えて	<p>アールスメア花市場は本当に広大で、一周しても大きさが掴めませんでした。今日で海外での農業研修は最後になりますが、帰国するまで気を抜かず無事、日本まで帰りたいと思います。そして今回学んだことは帰国時や研修報告会でまとめて発表し、将来に生かしたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">文責：櫻本千遥</p>		